

### ■ドイツ：エネルギー大手の RWE、本社ビル売却の意向

2014年8月13日付の地元経済紙は、ドイツのエネルギー事業者大手の RWE はエッセン市にある本社ビルを売却する意向と伝えた。大量の再エネ電力が市場に流入し、卸電力市場価格が低下傾向にある中、これまで発電事業を経営の柱としてきた RWE は近年業績が悪化してきており、2013年は不採算の火力設備を減損処理したことなどもあって1959年以来初の赤字決算となったのに続き、2014年上期も前年同期と比べ3割ほどの減益となっている。同社の本社ビルである RWE タワーは、高さ127m、30階建ての円柱形の高層ビルで、約1億5,000万ユーロを費やして1996年に完成し、以来、エッセン市のランドマーク的存在となっている。RWE の広報担当者は、現在、国内外の投資家と交渉中であることを認めた上で、売却後も賃貸契約により本社ビルを長期間使い続ける方針であることを明らかにした。RWE は、直前の8月12日にも卸市場価格低迷を理由に3火力発電設備（100万kW相当）の停止を決定している。